

租税教室のご案内

新潟県及び各地区の租税教育推進協議会では、次代を担う児童・生徒に対し、国や地方公共団体の財政を支える租税の意義や役割を正しく理解していただくため、税務署や県・市町村職員のほか、税理士・法人会会員などを講師とした租税教室を開催しています。

時間の長短・人数の多少にかかわらず（授業時間、ホームルーム、またはクラブ活動など）、講師派遣による租税教室を行っておりますので、お気軽にご相談ください。なお、先生が租税教育を実施する際に使用する租税教育教材は、国税庁HPをご活用ください。

また、小・中学校用租税教育用副教材は、関東信越国税局HP内及び新潟県HP内に掲載されています。



パワーポイントや講師用マニュアルをご紹介します。

【租税教室の開催例】

4月	8月	9月	12月	2月	3月
①授業に合わせた ②作文に向けた 租税教室	夏休み	③学校のご希望に合わせた租税教室			
④授業時間、ホームルーム、またはクラブ活動など短時間での租税教室					
⑤キャリア教育に向けた租税教室	中・高生の作文 9月初旬締切	⑥巣立ち教育に向けた租税教室			

租税教室に関するお問い合わせ・お申し込みは、最寄りの税務署（総務課）または新潟・長岡税務署の税務広報広聴官にご連絡ください。

新潟税務署 税務広報広聴官 025-229-2108(直通)
長岡税務署 税務広報広聴官 0258-35-2074(直通)

租税教育だより

令和3年9月1日
第59号
発行人
新潟県租税教育
推進協議会会長
県教育長 稲荷善之



タブレットを活用した中学生の租税教室始まる

長岡市教育委員会は、「Edu-Diver(エデュダイバー)」構想」というスローガンを掲げ、多様な人とのつながり、誰一人取り残さない教育の実現を目指しています。

その一環として、長岡地区租税教育推進協議会は、タブレットを活用した租税教室を、6月から市内各中学校で開催しています。

7月7日(水)、長岡市立与板中学校で開催された租税教室では、3年生66名全員を対象に長岡市市民税課布川主任と収納課浅野主事が講師を務め、生徒へ「資金不足のなかでの公共サービスへの資金の調達方法」という問いかけをし、チャットにより生徒が回答することで、参加者全員が授業の内容を共有することができました。授業中に様々な回答が飛び出し、思わず教室内に笑い声が上がりましたが、税金の使い方や現在の財政状況を学ぶことができました。

コロナ禍であっても、タブレットを活用した全生徒参加型の租税教室に、期待が高まります。

ご紹介いたします！ 租税教室



糸魚川市立糸魚川東小学校

租税教室で新たな試み

5月21日(金)、糸魚川市市民課関澤係長・糸魚川税務署泉総務係長による租税教室を開催しました。小学校に配備されたばかりのタブレット端末を用いて「糸魚川駅北大火と税」について学習しました。

また、糸魚川東小学校児童等の協力で副教材を刷新、保護者見学の実施を行うなど、関係者との協働で新規施策に取り組んでいます。



十日町市立松代小学校



6月9日(水)、十日町法人会青年部会の高橋氏が講師となり、6年生を対象に租税教室を開催しました。

後日、小学校からお礼の手紙をいただき、「税金の大切さがわかった。」「いろいろな税があることを知った。」などの感想が寄せられ、税金の重要性を再認識する有意義な租税教室となりました。

上越市立大町小学校

5月7日(金)、高田税務署徴収部門の早川事務官が講師となり、租税教室を開催しました。

授業では、DVD視聴や、税金クイズの出題の他、1億円のレプリカを用いながら税金の使い道について説明を行いました。

早川事務官の話は児童たちの心を掴み、授業後も児童たちから多くの質問が寄せられ、大いに盛り上がった租税教室になりました。



粟島浦村立粟島浦小学校・中学校

6月24日(木)、村上税務署佐々木総務課長が講師となり、小学5、6年生6人と、中学1～3年生20人に対して各学年別に租税教室を開催しました。

小学生を対象とした授業では、税金クイズを織り交ぜ、児童は楽しみながら、税金について学びました。

中学生を対象とした授業では、グループ討議形式で生徒達に「公平なお金の集め方」を討論してもらいました。様々な意見が飛び交い、皆真剣に「公平性」について考えていました。



田上町立田上中学校

リモートで租税教室を開催

7月15日(木)、3年生を対象にタブレットを使用したリモートでの租税教室を開催しました。

講師である関東信越税理士会三条支部の吉田税理士から発信された映像を、生徒がタブレットを通して受講しました。

タブレットを使用することで、短時間で多くの質問が寄せられ、また、アンケートにもスムーズに答えていただくことができました。

生徒からは、「初めてのリモートで新鮮だった。」などの声が上がっており、大好評でした。



新潟産業大学附属高等学校

7月15日(木)、関東信越税理士会柏崎支部の早川税理士が、租税教室を実施しました。同校は教育目標に「上品で逞しい生徒の育成」を掲げ、「自律自治と社会連帯の精神涵養」とおり、継続して「税に関する作文」への応募など租税教育に積極的に取り組んでいます。

培われた校風のとおり、将来を担う生徒たちは、税のプロフェッショナルである税理士の講義を熱心に聞き入っていました。



税のプロフェッショナルである税理士の講義を熱心に聞き入っていました。

新潟大学

日本酒学の講義を実施

5月12日(水)、「日本酒学」の受講生を対象に、「日本酒と税」と題して、関東信越国税局新潟派遣田中酒類業調整官がWEBによる講義を行い、日本酒と税の関係について、分かり易く、かつ丁寧に説明しました。

今年で4年目を迎える日本酒学講座は、1,000名を超える応募の中から抽選で選ばれた約450名が参加できる大変注目の講座です。



新潟県立新潟商業高等学校

母校で租税教室

2月26日(金)、関東信越税理士会新潟支部山田育子税理士が、母校で租税教室を行いました。山田税理士による租税教室は2年連続となり、租税教室を通して後輩に会えることを、毎年楽しみに授業をされています。

今年は、卒業前の3年生を対象に、社会に出てから役立つ税情報を説明しました。



新潟青陵高等学校

税に関する作文に向けた租税教室

7月15日(木)、新潟税務署野澤広報官が、1年生を対象に租税教室を開催しました。パワーポイントとレジュメを使用し、具体的な事例を生徒に考えてもらいながら、説明をしました。

生徒は、それぞれの事例に対する答えを真剣に考え、説明に耳を傾けていました。



新潟薬科大学

6月17日(木)、「税について考えよう」と題し、新津税務署皆川署長による租税教室を開催しました。

今年度入学した学生を中心に、税の役割、税務行政などを分かりやすく説明しました。

また、大学側からの希望により授業を動画撮影し、Teamsを活用した動画配信も行い、延べ200人の学生が受講しました。

学生は「税の重要性」を学ぶ良い機会となりました。

